

聖霊降臨節第11主日(緑)

主日礼拝

2025年8月17日 10時20分～

司式:

奏楽:

《神の招き》

前奏 『御名をほめたたえる歌声より』 J. ニクソン
招詞 ヨブ記37章5節
賛美歌 教会福音讃美歌245

《神の言葉》

祈禱 聖霊の照らしを求める祈り
聖書 ヨナ書3章1～5節 (旧約1426頁)
使徒言行録9章26～31節 (新約 226頁)

子ども説教 詩編71編14～19節 (82頁)

交読詩編 405
賛美歌 「エッ、この人が？」 八木浩史牧師

説教 祈禱
賛美歌 178

《感謝の応答》

信仰告白 使徒信条
献金 祈禱 献金当番
主の祈り (週報表紙、ホームページ掲載)

《派遣》

頌栄 I-545A
祝福
報告
後奏

礼拝当番: (役員:) 献金当番:
音響: 映像:

■■■ 調布教会は2026年度に創立80周年を迎えます! ■■■

「エッ、この人が？」

『ヨナ書』では、イスラエルの預言者ヨナが、アッシリア帝国の都ニネベにおいて「あと四十日で、ニネベは滅びる」と告げます。紀元前720年にアッシリア帝国は北イスラエル帝国を滅亡させました。イスラエルにとってのアッシリア帝国は、それほどの大敵であり、すなわち神に背く民らでした。そのようなアッシリアの都ニネベでの宣教を神から命じられた時、最初ヨナは拒否して逃亡します。しかし神はヨナを引き戻し、改めてニネベへと遣わされるのです。ヨナは嫌々ながらニネベで宣教を行います。その内心には“彼らは悔い改めないだろう”という期待があったのでしょうか。ところがニネベの民も王も、ヨナの宣教によって「神を信じ、断食を呼びかけ、大きな者から小さな者に至るまで粗布をまとった」のでした。それをご覧になった神は、彼らへの裁きを思い直されるのです。

『使徒言行録』では、教会の迫害者であったサウロ（パウロ）が回心し、洗礼を受けてキリスト者となりました。そしてすぐにダマスコで福音を宣べ伝え始めます。その変わりようにユダヤ人たちはうろたえ、サウロを殺ろうと企みます。ダマスコを逃れてエルサレムに戻ってきたサウロは、教会に加わろうとしましたが、キリスト者たちはサウロを恐れ疑い、受け入れようとしません。そこでバルナバはサウロを使徒たちのところへ連れて行き、彼が本当に回心したことを説明して、執り成したのでした。こうしてサウロはエルサレムでキリスト者たちに受け入れられ、主の名による宣教を堂々と行っていきます。